

タイプの異なるブラジャーの着装効果について  
京都女大家政 ○畠山絹江 福井弥生  
滋賀女短大 奥村 董

目的 体型の整容を目的としたブラジャーは、少女期から老年期までと幅広い年齢層の女性に着装されているファンデーションである。本研究では、若年女子を対象にブラジャーの着用実態を把握し、タイプの異なるブラジャーを選定して着用実験をおこない、乳房形状の変化および整容効果について検討した。

方法 ブラジャーの着用実態について、18～25才の女性（450人）にアンケート調査を行った。着用実験については、カップサイズの異なる被験者を選び、未着用時と着用時における乳房の形状、寸法、並びに衣服圧を測定した。実験試料のブラジャーは、1/2、3/4およびフルカップの3種類である。実験機器は、スライディングゲージ、シルエッター撮影機及び衣服圧測定器である。

結果 乳房形状の変化について、ブラジャーのタイプ別では3/4カップに、体型別ではA、Bカップが僅少であったが、Cカップ体型についてはバストアップの効果が認められた。乳房を寄せる効果については、3/4カップのブラジャーに認められた。